

各位

上場会社名 株式会社トランスジェニック  
 代表者 代表取締役社長 福永 健一  
 (コード番号 2342)  
 問合せ先責任者 経理財務部長 山本 健一  
 (TEL 092-288-8470)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月8日付で公表した平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	20	20	15	1.09
今回修正予想(B)	1,958	23	9	18	1.32
増減額(B-A)	△42	3	△11	3	
増減率(%)	△2.1	15.0	△55.0	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	1,617	△85	△122	△113	△8.39

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	510	△35	△40	△2.94
今回修正予想(B)	552	△80	△51	△3.72
増減額(B-A)	42	△45	△11	
増減率(%)	8.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	597	△121	△101	△7.52

#### 修正の理由

(連結)

平成27年3月期は、平成26年5月に公表いたしました「長期経営Vision2020及び中期経営Vision2017の策定に関するお知らせ」を達成すべく、グループ内シナジー強化に努めるとともに、グループ内の機能・組織整備も概ね完了し、業績へ大きく貢献する体制となりました。

上記の結果、売上高につきましてはグループ化した子会社の受注獲得が好調に推移し、業績予想を上回る見通しとなりました。しかしながら、当社及び子会社の株式会社プライムユニオンにおける先端医療事業の試薬販売における大口取引先の事業方針変更により製品売上が不調となったことが影響し、連結売上高は若干計画を下回る見通しとなりました。

一方、利益面について、営業利益につきましては、売上高増加に貢献した子会社従業員に対して、次期業績へのモチベーションアップを図ることを目的として決算賞与支給を実施しましたが、当該費用を吸収してもなお、予想を若干上回る見込みとなりました。

一方、経常利益につきましては、営業外費用として訴訟関連費用11百万円を計上したことから予想を下回る見込みとなりました。

なお、当期純利益は、子会社2社の計画を上回る利益達成により法人税等が計画より発生した一方で、連結グループが黒字体質に転換したことを受けて繰延税金資産の計上を行った結果、予想を上回る見込みとなりました。

(個別)

売上高は概ね見込み通りでありましたが、利益面につきましてはTG分子解析センター開設に伴う一時費用の発生及び同センターで新たに開始した個人向け遺伝子診断ビジネスの体制構築にともなう人員増により営業費用が増加したことに加え、営業外費用として訴訟関連費用11百万円を計上したことにより経常損失は予想よりも増加する見込みとなりました。

しかしながら、連結納税制度を今期から適用したことに伴い、単体においてマイナス法人税等が発生したことに加え、連結グループが黒字体質に転換したことを受け、繰延税金資産の計上を行った結果、経常損失の増加に比べ、当期純損失の増加は小幅な見込みとなりました。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上